



## 第4章

# 地域別構想

## 第4章 地域別構想

### 4-1. 基本的考え方

全体構想を踏まえ、地域別の概況や魅力・課題に応じた個性ある都市づくりの方針を示すため、「地域別構想」を策定します。

### 4-2. 地域区分の設定

地域別構想では、地域コミュニティを単位とした大川地域、三叉地域、木室地域、田口地域、川口地域、大野島地域の6地域について、地域別の都市づくりの方針を示しています。



■ 地域区分図

### 4-3. 地域別構想

各地域における地域別構想は、以降のとおりです。

## ①大川地域

—地域の将来像—

腕に自信あり

「おりが おりが」の匠のまち

## 地域の概況

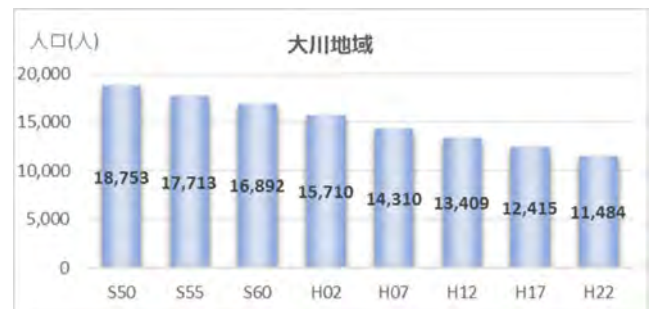
### ①大川地域位置



### ③人口動向

- ・ 本地域の人口は、市全体と同様に昭和 50 年以降減少傾向にあり、平成 22 年には昭和 50 年の約 6 割まで減少しています。
- ・ 平成 22 年時点の人口は、市全体人口の約 30% を占め、市内で最も人口が集積した地域となっています。

#### ▼ 地域内人口の動向



資料；大川市統計年報

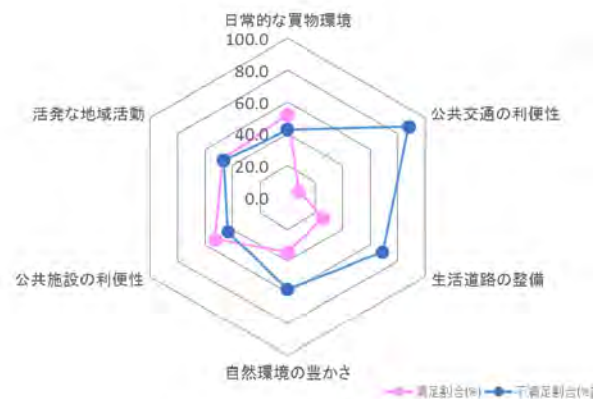
### ②大川地域の特徴

- ・ 大川地域は、大川市の中央に位置し、地域の中央を東西方向に花宗川が流れています。
- ・ また、国道 208 号が東西に走り、沿道には商業施設等が連担しています。
- ・ 国道 208 号より南側は、古くから筑後川を用いて上流から運ばれてくる材木の集積地として、また、藩境の町として栄えてきました。特に小保・榎津地区や若津地区などではこのような大川の歴史を綴るまち並みが残る他、街なかに小さな木工所が点在しています。
- ・ 国道 208 号より北側は農地が多く残されており、のどかな田園風景が広がっています。
- ・ 筑後川沿いには、国指定重要文化財や機械遺産に指定された大川有数の観光地である昇開橋が歩道橋として活用されており、筑後川の雄大な風景にアクセントを加えています。

### ④市民意向調査結果

- ・ 本地域では、日常的な買物環境、活発な地域活動、公共施設の利便性で満足度が高くなっています。
- ・ 一方、公共交通の利便性、生活道路の整備の不満足割合が高く、自然環境の豊かさについても満足度が低い状況にあります。

#### ▼ 大川地域の満足状況（市民意識調査結果）



## 地域の魅力・課題

### ① 土地利用

- 小保・榎津地区や若津地区には歴史的なまち並みや雰囲気の良い通りが残っています。
- まちなかに小さな木工所がまだ点在しており、家具のまちの雰囲気が残されています。
- 「俺が！俺が！」の職人氣質の方が多く、高い木工技術を有しています。
- 用途地域内での低未利用地の活用や特別工業地区の見直しが求められています。
- 木工業が衰退し、雇用が減り、空き家や空き地が増えている地区も存在しています。

#### ▼ 小保・榎津地区の歴史的なまち並み



#### ▼ まちなかの木工所



### ② 交通体系

- 広域幹線道路と繋がる環状道路の整備が求められています。
- 国道208号は中原交差点や諸富橋を中心に混雑しています。

#### ▼ 国道208号



### ③ 社会環境

- 観光地として、国指定重要文化財で機械遺産に認定されている昇開橋があります。
- 大型店舗も近く、買い物が便利です。
- 平成17年に国際医療福祉大学が開学し、若者が増加しています。
- 大川中央商店街では空き店舗が多くなっています。
- 地域の行事に若い人の参加が少ない状況にあります。
- 観光スポットが点在しているため、観光しづらい上に、観光地周辺にサインもなくわかりづらい状況にあります。
- 来訪者向けの雰囲気にあったカフェや雑貨屋など、楽しめる施設がない状況にあります。

#### ▼ 筑後川昇開橋



### ④ 地区施設

- 小さな公園や神社の境内など、子どもたちが遊べる場所や地域の憩いの場が点在しています。
- 道路が狭いにもかかわらず、車の量が多く、歩道のない通学路が存在し、改善が必要な箇所があります。
- クリークの水質が悪くなっている場所があります。

#### ▼ 空き店舗の多い商店街



○：地域の魅力 ●：地域の課題

## 地域の将来像

### 腕に自信あり 「おりが おりが」の匠のまち

小保・榎津地区や若津地区などに残る歴史的なまち並みを保全しながら、点在する魅力的な場所を結んだり、休憩場所をつくったりすることで、その魅力をさらに磨き上げ、暮らしやすい職人のまちを再生していきます。

## 地域の都市づくりの方針

### ①土地利用

- ・特別工業地区について、  
A地区…大川らしいまち並みを保全する地区  
B地区…工場や流通業務系などが立地できる地区  
C地区…住居系の土地利用に近づける地区  
の3つに区分することを検討します。  
(A地区 具体策)  
小保・榎津地区など、来訪者に職人の営みを見せることで、家内工業が残るまちを保全する。

### ②交通体系

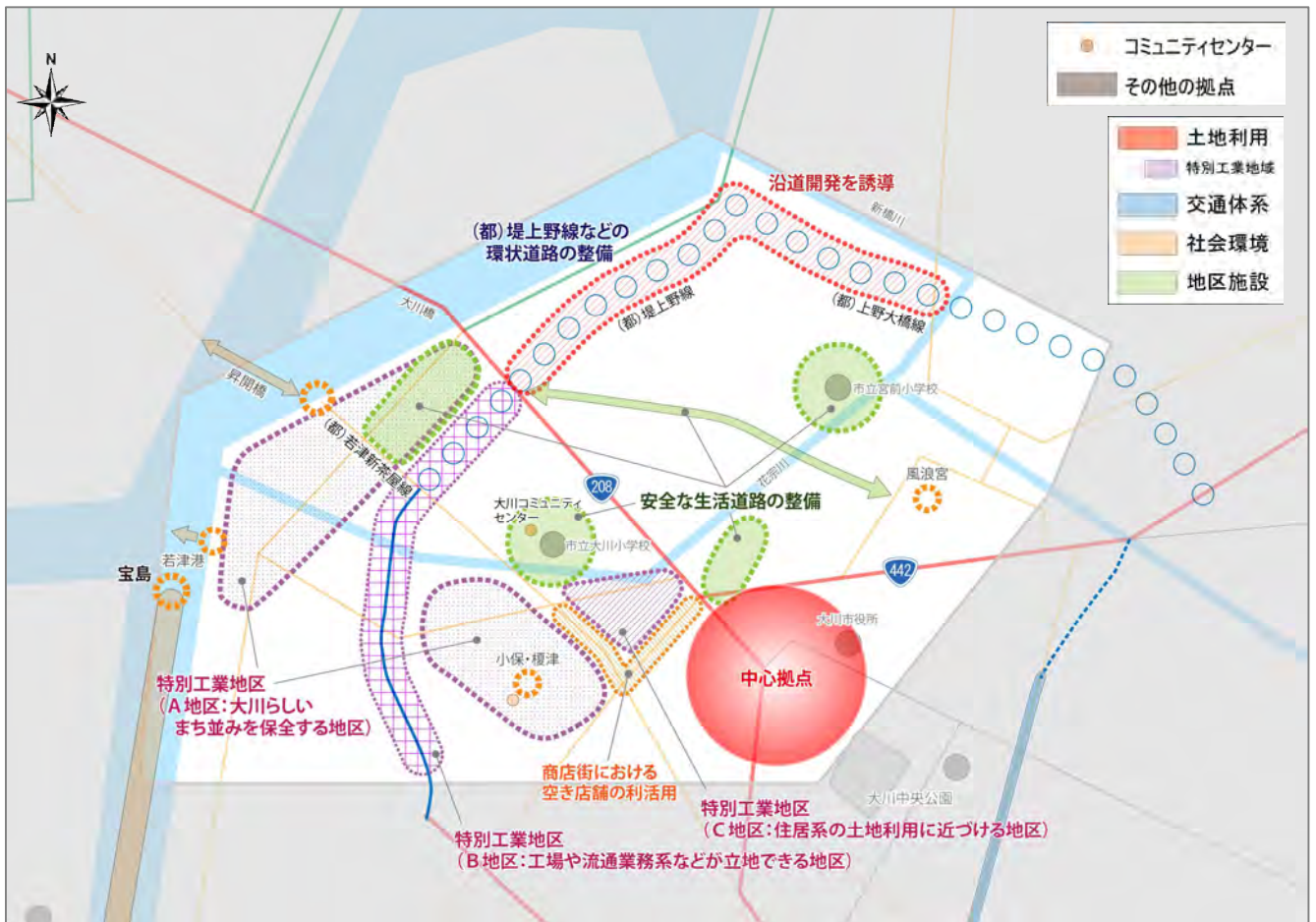
- ・(都)堤上野線、(都)上野大橋線について、環状道路としてのネットワークの形成に向けて整備を推進します。

### ③社会環境

- ・筑後川流域の豊かな水郷の景観と市街地の景観、さらに景観醸成モデルの小保・榎津地区、若津地区の景観について、今後も保全、誘導しつつ、観光資源としての活用も図っていきます。
- ・商店街では、国際医療福祉大学などとも連携しながら、空き店舗の利活用を促進していきます。

### ④地区施設

- ・今後の環状道路整備に合わせて、幹線道路沿線の生活利便施設などの誘導を図ります。
- ・通学路をはじめ、安全な生活道路の整備やクリークの保全を図ります。



## ②三又地域

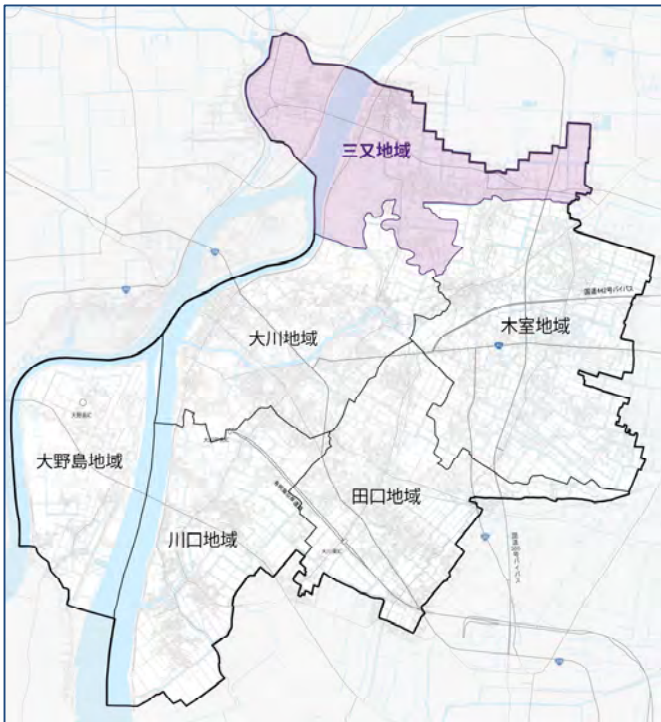
—地域の将来像—

筑後川を抱く

人にやさしい、産業と福祉のまち

## 地域の概況

### ① 三又地域位置



### ③ 人口動向

- ・ 本地域の人口は、市全体人口が減少傾向にあるなか、住宅団地整備等の要因により横ばいで推移しています。
- ・ 平成 22 年時点の人口は、市全体人口の約 15% を占めています。

#### ▼ 地域内人口の動向



資料；大川市統計年報

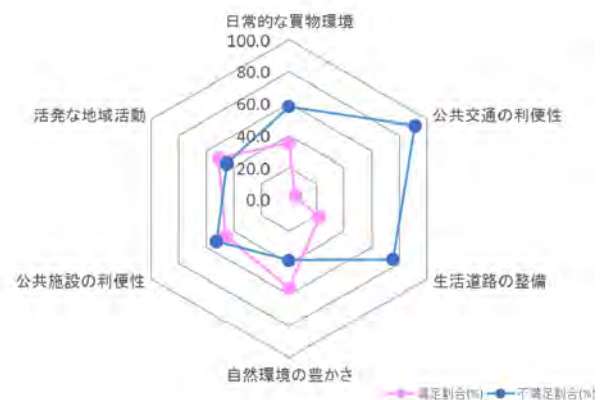
### ② 三又地域の特徴

- ・ 三又地域は、大川市の北西部に位置し、中央には筑後川が南北に貫流し、地域を2つに分けています。また、地域の真ん中を主要地方道 佐賀大川線、大川大木線が東西に走っています。
- ・ 筑後川より西側の道海島地区は、主要地方道 佐賀大川線沿いに道海島の集落や道海島市営住宅がある他は、農地やクリークが広がっています。
- ・ 筑後川より東側も西側と同様に中古賀地区、鐘ヶ江地区などの集落のまわりに田畑やクリークが広がっています。
- ・ 南部には家具工場が集約された大川家具工業団地が広がっており、大川の基幹産業である木工業の拠点として機能しています。

### ④ 市民意向調査結果

- ・ 本地域では、自然環境の豊かさで満足度が高くなっています。
- ・ 一方、公共交通の利便性、生活道路の整備の不満足割合が特に高く、日常的な買物環境についても満足度が低い状況にあります。

#### ▼ 三又地域の満足状況（市民意識調査結果）



## 地域の魅力・課題

### ① 土地利用

- 地域内の住宅地は閑静な住宅地となっています。
- 大川家具工業団地が位置しており、木工関連の工場が多く立地しています。
- 農地も多く、新鮮な野菜が魅力となっています。
- 買物する店が少なく、利便性が低下しています。
- これまでは人口が横ばいでしたが、今後の人口減少が懸念されます。

▼道海島地区の農地



▼大川家具工業団地



▼ 酒造業



▼鐘ヶ江渡し跡



### ④ 地区施設

- 地域には水辺としてのクリークが多くあります。
- 通学路指定された狭い生活道路を大型車が多く通行しています。また、見通しの悪い交差点も存在しています。
- 子どもたちが安心して遊べる場所が求められています。
- クリークの水質が悪くなっている場所があります。
- 海拔が低く、大水や高潮の際、安全に逃げられる場所がない状況にあります。

▼ 大型車が通行する生活道路



### ② 交通体系

- 広域幹線道路と繋がる環状道路や中心拠点と結ぶ道路の整備が求められています。
- バス停も少なく、公共交通の利便性が悪い状況にあります。

### ③ 社会環境

- 和太鼓や夏祭りなど、地域の行事が充実しています。
- 筑後川沿いの水辺には野鳥が集まり、豊かな水辺環境が保全されています。また、夕陽や夜景なども楽しめます。
- 清力美術館、鐘ヶ江渡し、酒造業など、観光資源としての魅力を有する施設等が存在しています。
- 農地の保全のためにも、地区内での地産地消などを進めることが求められています。

○：地域の魅力 ●：地域の課題

## 地域の将来像

### 筑後川を抱く 人にやさしい、産業と福祉のまち

筑後川を抱く景観のなかで、清力美術館をはじめとする歴史的な資源を生かし、地域住民の交流を深めながら、子どもから高齢者まで安全に安心して暮らせる人にやさしいまちをつくっていきます。

## 地域の都市づくりの方針

### ① 土地利用

- ・福祉のまちとしての土地利用を促進します。
- ・大川家具工業団地を中心とする工業地域は、今後も工場などの誘致を促進します。

### ② 交通体系

- ・広域幹線道路や中心拠点へのアクセス性向上のため、(都) 堤上野線など環状道路の整備を推進します。
- ・西鉄柳川駅や大善寺駅へのバス路線について、利用環境の維持、向上を促進します。

### ③ 社会環境

- ・筑後川の景観保全を図るとともに、他地域と連続した散歩道の整備や鐘ヶ江渡しなど歴史的な資源を活用します。
- ・地元密着の生活食品販売所としてコンビニ及び福祉施設の食サービスなどを活用します。

### ④ 地区施設

- ・通学路をはじめ、安全な生活道路の整備やクリークの保全を図ります。
- ・観光資源である清力美術館などを生かした地域づくりを検討します。
- ・地域拠点における公園設置を検討します。



### ③木室地域

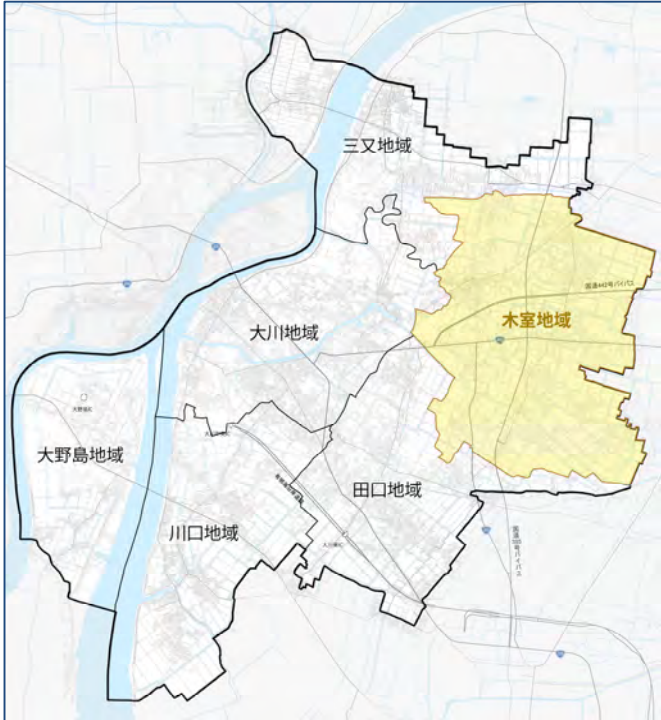
－地域の将来像－

美しい田園と人情あふれる

心豊かな 住みやすいまち

## 地域の概況

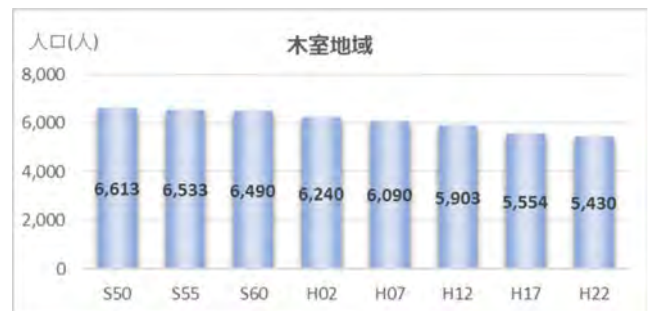
### ①木室地域位置



### ③人口動向

- ・本地域の人口は、市全体と同様に昭和 50 年以降減少傾向にあり、平成 22 年には昭和 50 年の約 8 割まで減少しています。
- ・平成 22 年時点の人口は、市全体人口の約 14%を占めています。

#### ▼ 地域内人口の動向



資料；大川市統計年報

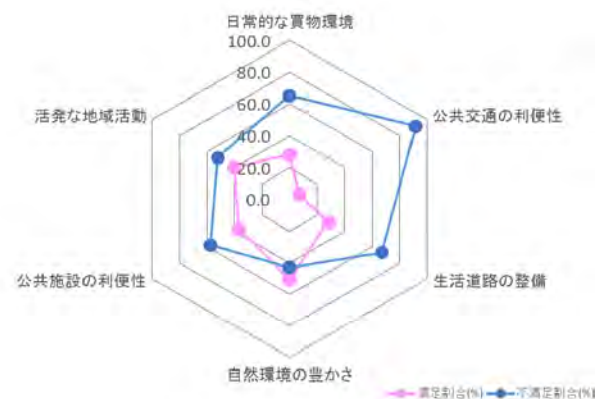
### ②木室地域の特徴

- ・木室地域は、大川市の北東部に位置し、地域の真ん中を東西方向に国道 442 号、南北方向に国道 385 号が走っています。
- ・国道や県道などの幹線道路沿いに集落が発達し、その周囲には優良な農地が広がっています。
- ・全域に農業に使う水を送り、大雨時の貯水機能を果たすクリークが張り巡らされています。
- ・近年は市道(旧国道 442 号)や市道(旧国道 385 号)のバイパスが整備され、自動車による八女市や柳川市へのアクセス性が向上しました。
- ・地域の東側には大川家具木室団地や大川木材団地が立地しており、大川の基幹産業である木工業の拠点として機能しています。

### ④市民意向調査結果

- ・本地域では、自然環境の豊かさで満足度が高くなっています。
- ・一方、公共交通の利便性、生活道路の整備、日常的な買物環境については、不満足割合がかなり高い状況にあります。

#### ▼ 木室地域の満足状況（市民意識調査結果）



## 地域の魅力・課題

### ① 土地利用

- 天満宮、三嶋宮など、歴史のある建物が点在しています。
- 優良な農地が広がっており、い草、花ごぎ、アスパラ、いちごの生産が盛んです。
- 地域拠点周辺は、地域を活性化するために生活利便施設が必要です。
- 農業の後継者が減り、休耕地が増えています。
- 空き家が増えています。

▼広大な農地



### ② 交通体系

- 幹線道路の整備が進んでいて、自動車交通の便が良いです。
- 広域幹線道路と繋がる環状道路の整備が求められています。
- バス路線の維持、利便性の向上が望まれます。

▼国道 385 号バイパス



### ③ 社会環境

- 地域住民がコミュニティ活動に協力的です。
- 人口減少と高齢化により、地域活動の担い手が不足してきています。

### ④ 地区施設

- 幹線道路は歩道が設置されているため、安全に歩けます。
- 草花の植栽など、クリーク沿線の景観整備が進んでいます。
- 小さな公園や神社の境内など、子どもたちが遊べる場所が点在しています。
- 集落の中の道路が狭く、曲がりくねっていて、緊急車両の通行に支障をきたしています。
- 旧国道など歩道のない区間があります。
- クリークの水質が悪くなっている場所があります。
- 買物できるお店が身近にありません。
- 街灯が少なく、夜が暗い状況です。

▼草花により景観整備されたクリーク



▼狭くて曲がりくねった街路



○：地域の魅力 ●：地域の課題

## 地域の将来像

### 美しい田園と人情あふれる 心豊かな 住みやすいまち

優良な農地を保全しながら、既存の公園や神社を活用して地域住民の連携を図り、誰もが協力的な地域コミュニティを形成していきます。そして、地域のつながりが強い心豊かな住みやすいまちの形成を図っていきます。

## 地域の都市づくりの方針

### ①土地利用

- ・地域拠点となる小学校やコミュニティセンター周辺地域では、生活利便施設などを誘導することにより、生活しやすい拠点の形成を図ります。
- ・大川木材団地などの工業団地については、今後も工場や流通業務系などの誘致を促進します。

### ②交通体系

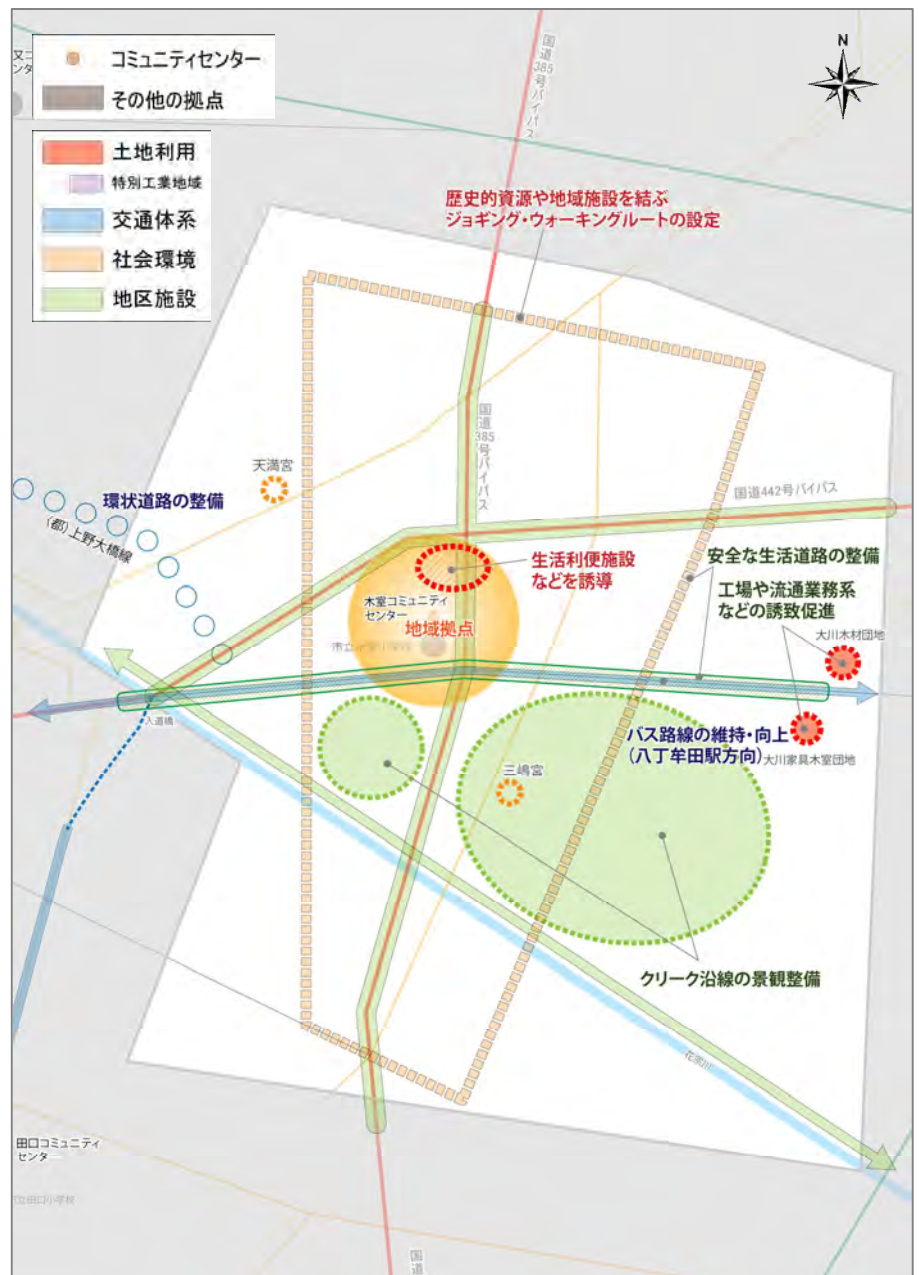
- ・西鉄八丁牟田駅へのバス路線について利用環境の維持、向上を図ります。

### ③社会環境

- ・平坦な地形と美しい田園景観を生かして、神社などの歴史的資源やコミュニティセンターなどの地域施設を結ぶジョギング、ウォーキングルートを設定します。

### ④地区施設

- ・通学路をはじめ、安全な生活道路の整備やクリークの保全を図ります。
- ・クリーク沿線の景観整備を図ります。



## ④ 田口地域

－ 地域の将来像 －

田んぼの入口から、人の入口へ

## 地域の概況

### ① 田口地域位置



### ③ 人口動向

- ・ 本地域の人口は、市全体と同様に昭和 50 年以降緩やかな減少傾向にあり、平成 22 年には昭和 50 年の約 8 割まで減少しています。
- ・ 平成 22 年時点の人口は、市全体人口の約 16% を占めています。

#### ▼ 地域内人口の動向



資料；大川市統計年報

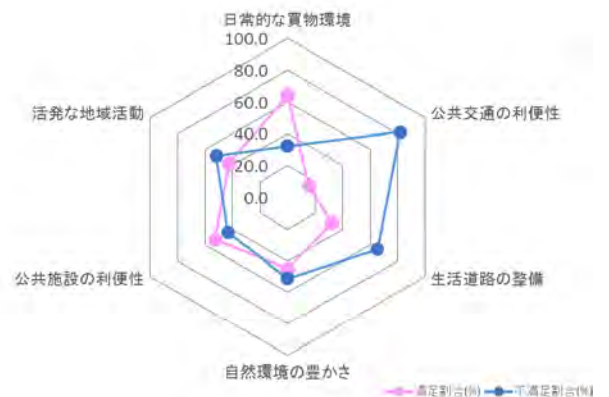
### ② 田口地域の特徴

- ・ 田口地域は大川市の南東部に位置しています。田口地域には国道 208 号や県道 水田大川線が東西方向に、県道 鐘ヶ江酒見間線が南北方向に通る、これらの道路沿いを中心に市街地や集落が形成されています。また、地域の東側には優良な農地が広がっています。
- ・ 地域の北側に位置する大川中央公園は大川市の憩い場として、また、国道 208 号沿線やいちょう通り沿線の商業施設が集積する地域は、市内の主要な買物場所として機能しています。

### ④ 市民意向調査結果

- ・ 本地域では、日常的な買物環境、公共施設の利便性で満足度が高くなっています。
- ・ 一方、公共交通の利便性、生活道路の整備の満足割合が高く、自然環境の豊かさや活発な地域活動についても満足度が低い状況にあります。

#### ▼ 田口地域の満足状況（市民意識調査結果）



## 地域の魅力・課題

### ① 土地利用

- 上巻地区や兼木地区では人口が増えています。
- 国道 208 号やいちょう通り沿いに商業施設が立地していて便利です。
- 田口地区や坂井地区で人口が減少しています。
- 農地と住宅の混在や新たな居住者の受け入れなど、土地利用のメリハリをつける必要があります。

#### ▼商業施設が立地する国道 208 号



#### ▼坂井地区の様子



### ② 交通体系

- 国道 208 号が通り、公共交通の便がよいです。
- 幹線道路では、(都)大橋三丸線などの未整備区間があり、整備を促進する必要があります。

#### ▼国道 208 号の沿道状況



### ③ 社会環境

- 慈恩寺の県文化財（仏像）や旧街道など、歴史的に貴重なものが残っています。
- 熊野神社での地域の祭りなど、コミュニティの活動が活発です。
- 古賀政男（作曲家）や、溝江勘二（画家）などの著名人を輩出しています。
- 古賀政男記念館や旧街道など、観光資源になるものがあります。
- 三丸地区や上巻地区では人口は増えましたが、コミュニティが希薄です。
- 音楽祭等のイベントや PR などにより、人の集まる企画が必要です。

#### ▼古賀政男記念館



### ④ 地区施設

- 災害が少なく、安心して生活ができます。
- クリークの水質が悪くなっている場所があります。
- 歩道や街灯の未整備箇所や見通しの悪い交差点など、改善が必要な箇所があります。
- 余暇を過ごす施設が必要です。
- 地域防災の準備が十分にできていません。

#### ▼地域の祭りを行う熊野神社



○：地域の魅力 ●：地域の課題

## 地域の将来像

### 田んぼの入口から、人の入口へ

田口地域の歴史を整理した後、旧街道や慈恩寺など歴史文化が感じられる地域にひとが集まるように整備やPRを行っていきます。また、アミューズメント施設などを誘致し、著名人にまつわるイベントを開催し、人が集まる地域を創出していきます。

## 地域の都市づくりの方針

### ①土地利用

- ・市役所付近から南郷原交差点付近については、商業業務施設の誘導を図ります。
- ・大川中央公園付近から幡保南交差点付近については、住居や生活利便施設の誘導を図ります。
- ・特別工業地区を見直して、より住居系の土地利用に近づけることを検討します。

### ②交通体系

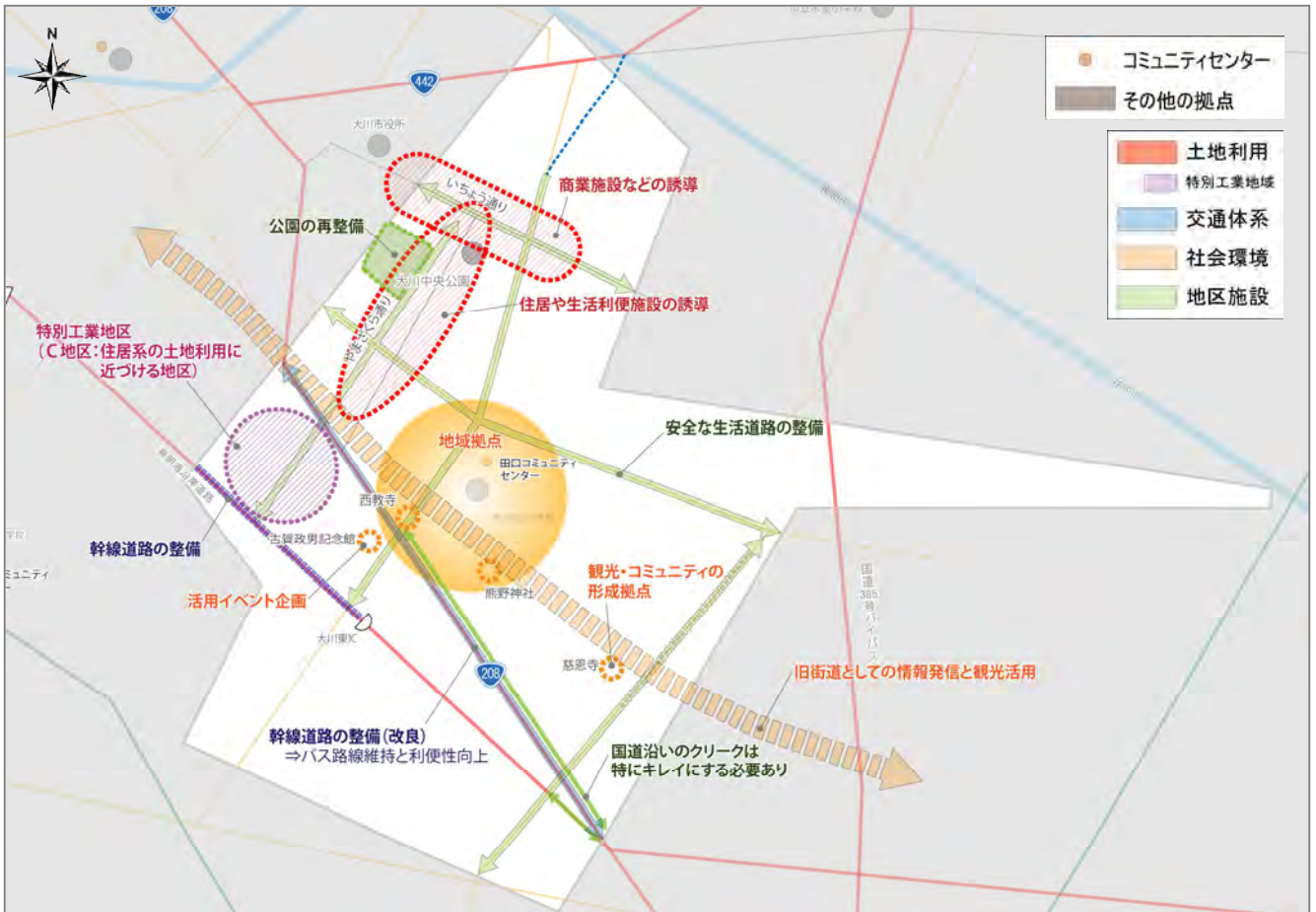
- ・有明海沿岸道路の事業を促進し、(都)大橋三丸線は、関係機関と協議しながら整備を推進します。
- ・公共交通網として、バス路線の維持、向上を図ります。

### ③社会環境

- ・田園景観や歴史・文化など、地域にとって必要なものの保全・継承を図るとともに、古賀政男記念館の活用や溝江勘二画伯など、著名人にまつわるイベント企画などにより人が集まる事業を検討します。
- ・地域住民の交流の活性化とコミュニティの形成を図ります。

### ④地区施設

- ・通学路をはじめ、安全な生活道路の整備やクリークの保全を図ります。
- ・大川中央公園については、子育て世代や高齢者などに配慮した再整備を検討します。



## ⑤川口地域

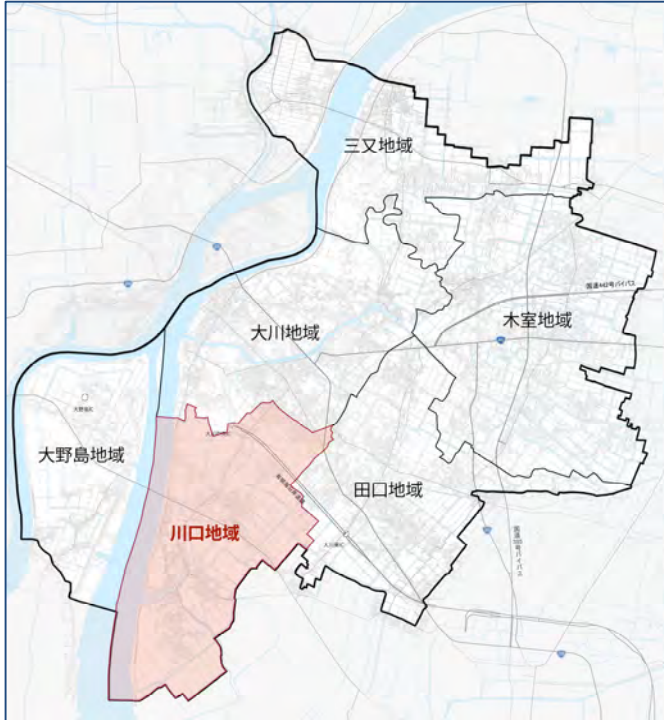
－地域の将来像－

有明海の豊かな恵み てんこ盛り

沿岸道路と暮らす夕日が映えるまち

## 地域の概況

### ①川口地域位置



### ②川口地域の特徴

- 川口地域は、大川市の南部に位置し、地域の西側に流れる筑後川沿いには上新田港と新田港の2つの港を有しており、海苔の養殖などの漁業が盛んに行われています。
- 県道 新田榎津線や県道 本町新田大川線が南北方向に、主要地方道 大牟田川副線が東西方向に通り、これらの道路沿いに集落が形成され、集落の周辺には広大な農地が広がっています。
- 地域の北側では有明海沿岸道路の整備が進められて、地域活力への寄与も期待されています。

### ③人口動向

- 本地域の人口は、昭和60年をピークとして減少傾向にあり、平成22年には昭和50年の約8割まで減少しています。
- 平成22年時点の人口は、市全体人口の約18%を占めています。

#### ▼ 地域内人口の動向

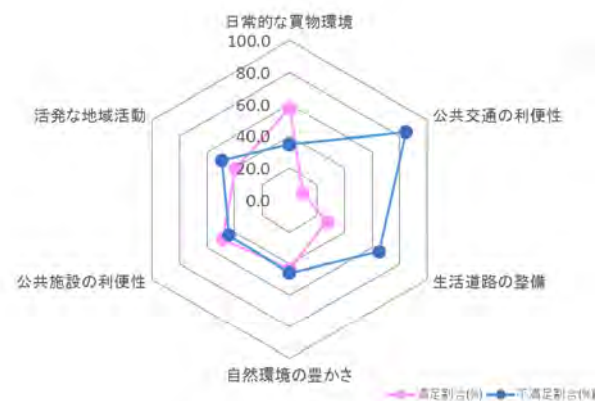


資料；大川市統計年報

### ④市民意向調査結果

- 本地域では、日常的な買物環境で満足度が高くなっています。
- 一方、公共交通の利便性、生活道路の整備の不満足割合が高い状況にあります。

#### ▼ 川口地域の満足状況（市民意識調査結果）



## 地域の魅力・課題

### ① 土地利用

- 江神社、沖龍神社、導流堤など、歴史的な建造物が残されています。
- いちごの生産が盛んであるとともに、海苔の養殖やエツ漁、シジミなどがよく採れ、漁業も盛んな地域です。
- 管理されていない空き家が増え、火事や倒壊の危険があります。
- 人口減少により、若者や子どもが少なくなっています。また、若者が働ける場所も少ない状況にあります。
- 有明海沿岸道路の整備を契機とした地域の活性化にむけて、特別工業地区の見直し等が求められています。

▼沖龍神社



▼上新田港の風景



### ② 交通体系

- 地域北部に有明海沿岸道路が整備され、広域的な利用がしやすい状況にあります。
- バス路線の維持、利便性の向上が望まれます。

▼整備が進む有明海沿岸道路



### ③ 社会環境

- 夕日、雲仙、のり船が入りする筑後川の眺めは絶景と言えます。
- 地域住民同士の触れ合いが多く、結束力があります。
- 子供相撲など昔からの風習も守られ、子どもたちは元気で生き生きしています。
- 若い人が地域交流に参加しにくい状況にあります。

### ④ 地区施設

- 新田金剛院広場など、散歩道や憩いの場があります。
- 災害が少なく、安心して暮らすことができます。
- 商業施設が出来たことにより、買い物が便利になっています。
- クリークの水質が悪くなっている場所があります。
- 河川敷などにゴミが目立ちます。
- 子どもを安全に遊ばせることのできる公園や遊具が少ない状況にあります。
- 生活道路において、歩道がない、見通しが悪いなど、改善が必要な箇所があります。
- 有明海沿岸道路沿いには街灯がなく、夜になると危険です。

▼狭い生活道路



○：地域の魅力 ●：地域の課題

## 地域の将来像

### 有明海の豊かな恵み てんこ盛り 沿岸道路と暮らす夕日が映えるまち

筑後川沿いに展望台を設け、地域住民が有明海の恵みを実感できる場所を整備するとともに、地域の交流の場を創出していきます。また、クリークや生活道路の安全点検を行い、必要な場所から整備し、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

## 地域の都市づくりの方針

### ① 土地利用

- ・有明海沿岸道路側道北側については、特別工業地区の制限の緩和を検討し工場や流通業務系などの立地誘導を図ります。

### ② 交通体系

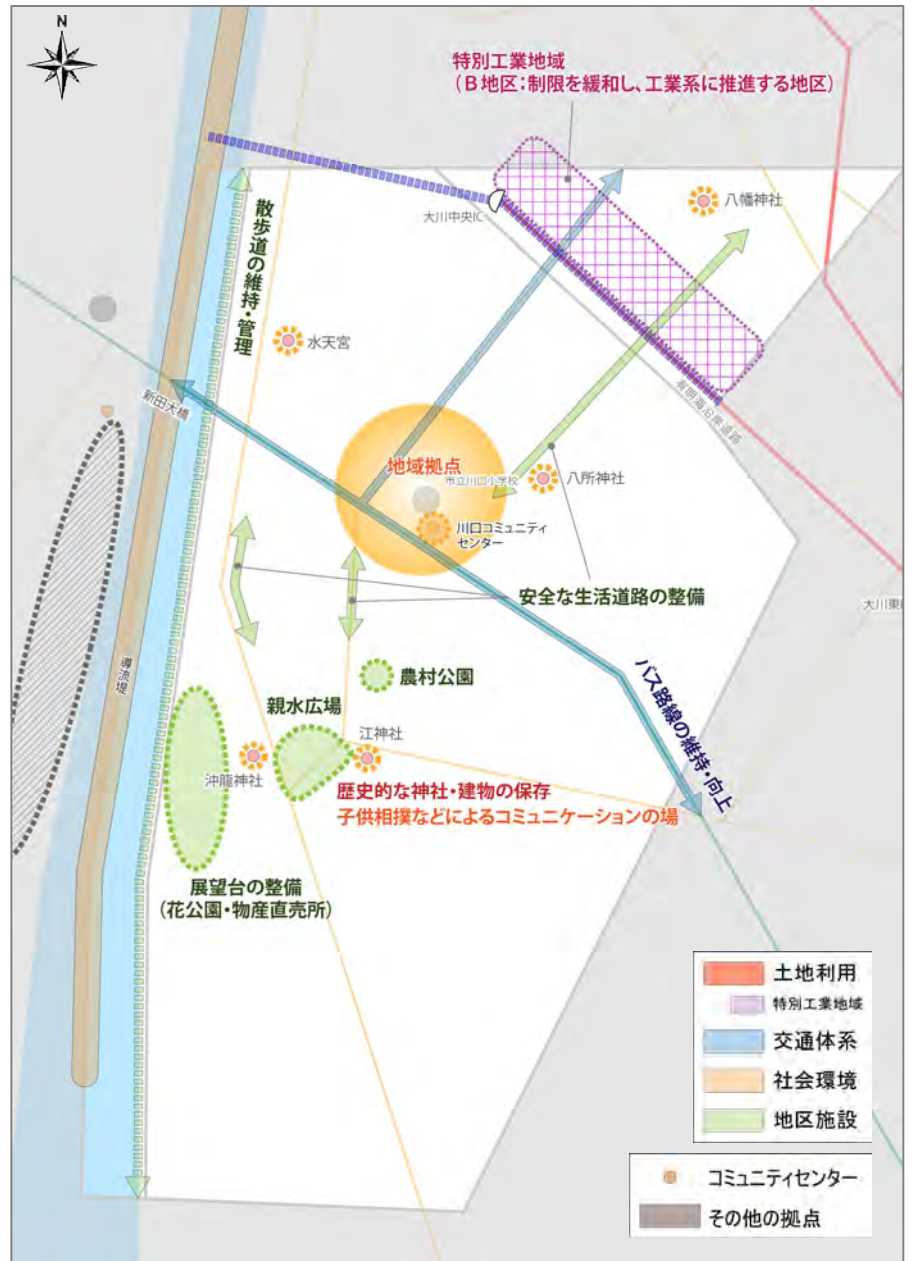
- ・有明海沿岸道路の事業を促進します。
- ・公共交通網として、バス路線の維持、向上を図ります。

### ③ 社会環境

- ・筑後川の堤防は周辺よりも標高が高く、有明海や昇開橋、導流堤などを見渡す絶好の眺望点となることから、今後も連続する河川景観の形成を図ります。

### ④ 地区施設

- ・筑後川を眺望するための展望ポイントの整備を検討します。
- ・通学路をはじめ、安全な生活道路の整備やクリークの保全を図ります。



## ⑥大野島地域

－地域の将来像－

愛（ふれあい・めぐりあい）

花と緑と人情の島

## 地域の概況

### ①大野島地域位置



### ②大野島地域の特徴

- ・大野島地域は大川市の南西部に位置しています。
- ・大野島地域は筑後川河口部の三角州であることから、水捌けが悪く、洪水が起こった場合は大きな被害を受けてしまう可能性が高い地域です。
- ・主要地方道 大牟田川副線や県道 大詫間大川線沿いに集落が形成され、その周辺には優良な農地が広がっています。
- ・現在は主要地方道大牟田川副線が大川市街地や佐賀市を結ぶ唯一の道路になっていますが、有明海沿岸道路の整備により、大野島ICが完成すれば、隣接都市間を結ぶ道路ネットワークが強化され、大川市街地や佐賀市方面へのアクセス性の向上が期待されています。

### ③人口動向

- ・本地域の人口は、昭和60年をピークとして、以降減少傾向にあり平成22年には昭和60年の約8割にまで減少しています。
- ・平成22年時点の人口は、市全体人口の約7%を占めています。

#### ▼ 地域内人口の動向

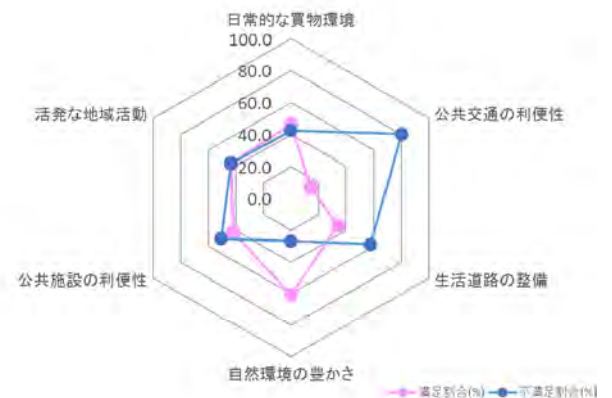


資料；大川市統計年報

### ④市民意向調査結果

- ・本地域では、自然環境の豊かさについて満足度が高いものの、その他の要因については総じて低い満足度となっています。
- ・一方、公共交通の利便性、生活道路の整備については不満足割合がかなり高い状況にあります。

#### ▼ 大野島地域の満足状況(市民意識調査結果)



## 地域の魅力・課題

### ① 土地利用

- 地域全域が、のどかでのんびりして住みやすいまちです。
- 筑後川の導流堤や白仏の勝楽寺など、歴史的な建造物が残っています。
- 地域内には、緑豊かな農地が広がっています。
- 日常的な買い物などの生活利便施設が不足しています。
- 地域の主産業である農業を担う後継者が少ない状況です。

#### ▼地域に広がる農地



### ② 交通体系

- 佐賀空港が近くにあり、便利です。
- 新田大橋は狭くて急な上に、朝夕の時間帯に渋滞しています。
- バス路線の維持、利便性の向上が望まれます。

#### ▼市街地との唯一の架け橋 新田大橋



### ③ 社会環境

- 地域内の人と人とのつながりが強く、温かい人間関係が形成されています。
- 新田大橋から見る筑後川、昇開橋、導流堤、雲仙の風景は美しく、特に、朝日や夕陽の風景も多くの人に愛されています。
- 地域全体で取り組む町おこしの行事が少なくなっています。

#### ▼大野島を囲む筑後川



### ④ 地区施設

- 筑後川の河川敷が広く、散歩などの運動をしやすい環境があります。
- 地域全体で、災害が少ないのが特徴です。
- 子どもが集まって遊べる場所がありません。
- クリークの水質が悪くなっている場所があります。
- 生活道路において、歩道がない、見通しが悪いなど、改善が必要な箇所があります。
- 災害時の緊急避難場所となるような高い建物がほとんどありません。

#### ▼心地よい散歩コースとなる堤防



○：地域の魅力 ●：地域の課題

## 地域の将来像

### 愛（ふれあい・めぐりあい） 花と緑と人情の島

有明海沿岸道路の整備に合わせて、生活利便施設の誘導など、コンパクトで交流しやすい環境を作ります。また、筑後川の雄大な景観や昇開橋などが眺望できる位置的ポテンシャルを生かした施設等の整備により、地域の活力を生み出します。

## 地域の都市づくりの方針

### ① 土地利用

- ・有明海沿岸道路の整備に合わせて、主要地方道大牟田川副線や（都）大野島インター線沿線で、生活利便施設や住宅などを誘導することにより、生活しやすい環境の形成を図ります。

### ② 交通体系

- ・有明海沿岸道路の事業と合わせて、（都）大野島インター線の整備を促進します。
- ・公共交通網として、バス路線の維持、向上を図ります。

### ③ 社会環境

- ・筑後川や早津江川の堤防は周辺よりも標高が高く、有明海や昇開橋、導流堤などを見渡す絶好の眺望点となることから、今後も連続する河川景観の形成を図ります。
- ・木の香マラソンなどの地域の特色を生かした、若い人でも楽しめるイベントなどを検討します。

### ④ 地区施設

- ・筑後川の堤防から眺望できる風景や、地形を生かした散歩道の整備を検討します。
- ・通学路をはじめ、安全な生活道路の整備やクレークの保全を図ります。

